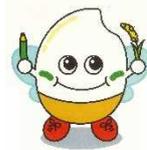


須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

## とう 雲 第19号

令和3年1月13日発行

発行者：校長 小貴 崇明



### ○令和3年が稲田学園にとってすばらしい年になりますように



令和3年1月5日(火)、いつもの年より3日早く3学期が始まりました。稲田学園の子どもたちは元気に登校し、コロナ感染が疑われる状況は全く見られません。しかし、全国的には感染者の数が増加傾向にあり、福島県でも毎日数十名の感染者がでるなど、予断を許さない状況となってきました。

そんな中でも、いつかはコロナ禍も終わることを信じて希望を持ち、今できることをコツコツと努力して行ってほしいという願いを込めて、次のような話を始業式にしました。丑年の今年が、皆さんにとってすばらしい年でありますように・・・

みなさん、あけましておめでとうございます。(一部省略)

今年は令和3年。今年の干支は何だかわかりますか？そうです。「丑＝ウシ」です。いろいろと調べてみると、丑年生まれの方は、「我慢強さに恵まれているため、困難にもめげずに目標達成のために努力するという性格」と書かれていました。丑年生まれの方は手を挙げてみて下さい。どうですか、まわりから見て我慢強い人たちですか？同じ年に生まれた人は全部同じ性格になるとは思えませんから、これはたぶんウシがおっとりとして歩いたり、多少のことでは動じない堂々とした動きをしたりする姿をイメージしているのではないのでしょうか。つまり、丑年生まれの人たちには、ウシのように我慢強く努力家になってほしいという願いが込められているのだと思います。

そこで、校長先生はさらにこんなことを考えてみました。丑年の今年、たくさんの方にウシのように我慢強くなってほしい、つまり丑年を生きていく時の目標みたいに考えてもいいのではないかとということです。だから、校長先生は丑年の今年、稲田学園の児童生徒の皆さんに、ウシのような我慢強さをもって、しっかり努力してほしいと思っていますのです。



今年もまだまだ新型コロナウイルス感染症との戦いは続くでしょう。きっとたくさん我慢をしなければならぬ場面もあるでしょう。しかし、ウシのように我慢強い人たちは、険しい道のりでも、弱音を吐いたりあきらめたりすることはありません。周囲から無理だと思われようとも、自分で決めたことはやり通す粘り強さがあるはず。そして、コツコツと努力を惜しまない姿勢を崩さず、最後には目標を達成することができる。これが、校長先生の丑年における大きな夢であり目標です。(後文省略)

### ★ことばのちから(19) 「座右の銘」(ざゆうのめい)

9年生の入試対策として「校長面接」が始まりました。ある9年生に「あなたの座右の銘は何ですか？」と尋ねたところすぐに答が返ってきました。すばらしい！面接ではその人の人柄を知る上でキーワードとなるだろうとよく質問されます。今からでも遅くはありません。自分にじっくりとくる言葉を探しておきましょう。困ったときには「継続は力なり」「有言実行」「初心忘るべからず」「文武両道」などがおすすめです(笑)。合格めざして頑張り9年生！！